

令和元年度学校評価

学校法人白百合学園 白百合幼稚園

★教育方針

- ①健康、安全で幸福な生活のための基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培う。
- ②人への愛情や信頼感を育て、自立と協同の態度及び道徳性の芽生えを培う。
- ③自然などの身近な事象への興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
- ④日常生活の中で言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や言葉に対する感覚を養う。
- ⑤多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにする。

★自己評価

教育環境の充実のために、まず施設面では、バス駐車場ブロック塀の撤去とフェンスの設置、遊具の点検修理を行い、安全面の整備をした。ポータブルアンプ購入や図書は補充、しらゆりホールの演台花台セットやタンバリン・マーチング用フラッグ（卒園生からの寄贈）や折り畳み用長机や年長保育室用玩具（育友会からの寄贈）の購入により園児の様々な活動に役立てることができた。

また、奈良県からの補助をうけ、年少用組み立てプールの購入や預かり保育の充実を進めることができた。

今年度も昨年同様、交通安全教室や避難訓練の実施、生駒中学校二年生の職場体験の受け入れ、ふれあい交流学習をおこなった。年長児は桜ヶ丘小学校の作品展を見学し、小学校入学に向けての良い機会となった。奈良県からの補助金を受けた農園の活動も年間を通して農作物の生長観察・収穫を体験し、また持ち帰って家族と収穫の喜びを分かちあったり、一緒に料理をする機会となった。また、レシピ集の作成により食育にもつながった。昨年に引き続き、保護者の農園ツアーを行うとともに、ボランティアを募り、農園に対する関心を深めることにも努めた。ホームページをスマートフォン対応にするにあたり、デザインを変更し、保護者と繋がるツールとしての活用を図るもまだ十分ではなかった。

保護者のアンケートの結果を考察すると、概ね評価していただいたと考える。しかし、まだ園の教育内容等、特に正課やカリキュラムについては理解を深めていただく努力が必要である。そのためにも、ホームページを有効に活用できるように工夫することが必要である。

教員は日々、真摯な気持ちで保育に取り組んだり、研修会に参加し、自己研鑽に努めたが、来年度は会議や園内研修などで、各自の資質を高めるなど、保育の質の向上のための努力を重ねたい。

緊急時の対応については色々な意見を取り入れながら検討を重ね、保護者との連携を深める必要があると考える。幼児教育の重要性を再確認し、人格形成の基礎となる幼児期を預かる責任を真摯に受けとめ、研鑽を積みたい。

★学校評価

令和2年9月16日（水曜日）に学校評価アンケート結果及び職員による自己評価を参考資料として会議を行った。アンケート結果から、保護者は概ね園の教育を評価していると考えられるが、園の独自のカリキュラムや特色についてより理解されるように園からの発信を増やしたり、ホームページの活用により可視化を進める努力が必要である。教職員の子どもや保護者に対する言葉遣いが丁寧で、園が言葉を大切に考えていることがよくわかる。子ども達それぞれの成長にそった工夫や配慮をして、さらなる保育の質の向上に取り組んでほしい。

アンケートで【外遊びを増やしてほしい】という意見があったので、引き続き、外遊びの時間を増やし、体力向上につながる努力を継続する必要がある。また、体育指導については、年齢に応じたカリキュラムで成果を上げることが望まれる。

預かり保育は、子ども達が楽しく過ごせる独自のカリキュラムを組んでおり評価できるが、就労の保護者を考慮して預かり保育の予定をもっと早く知らせたり、長期休暇の預かり保育の日数を増やすなどの対応が望まれる。

保護者へのお知らせ等の広報活動は、明確でわかりやすくし、間違いのないよう細心の注意を払う必要がある。また、ホームページに園便り等を掲載し、ペーパーレス化に向けて取り組むのも時代にそった対応であろう。保育のアルバムで幼稚園での子ども様子の写真を頻りに掲載して普段の保育の様子を知らせることにより、白百合幼稚園の保育に対しての保護者の一層の理解へと繋げることができると考える。

次年度に向けての課題として、保護者との意思の疎通を深めるため、園の様子や保育を定期的にお知らせし保護者の園に対する理解を得る努力が必要である。

令和元年度学校評価アンケート集計結果

A・・・はい B・・・どちらともいえない C・・・いいえ

1. お子様にとって幼稚園はどうだったでしょうか？	A	B	C
①子どもは幼稚園に行くことを喜んでいる。	126	4	0
②子どもは幼稚園で、家ではできない様々な体験をしている。	132	0	0
2. 保護者の方にとってはどうだったでしょうか？			
①子どもを白百合幼稚園に入園させてよかった。	126	4	0
②幼稚園の教育方針に賛同している。	126	5	0
③子どものことについて、園や先生に相談できる。	122	7	1
3. 幼稚園の教育についてお聞きします。			
①園はお便り等で園の教育方針や考え等を、わかりやすく伝えようとしている。	117	13	1
②園は参観、懇談会等で、保育や子どもの様子がわかるように努めている。	121	10	0
③園は子ども一人一人を大切にしている。	115	16	0
④園は子どもの森や観察農園等、園内の自然を保育に生かしている。	131	0	0
⑤園は外遊びや体づくりなど、子どもの健康増進に努めている。	97	30	4
⑥園は不審者侵入や災害などに対する安全対策をとっている。	115	15	0
⑦園の正課（音楽指導・体育指導・英語指導・お茶のおけいこ）に満足している。	72	13	2
4. 預かり保育についてお聞きします。			
①預かり保育を利用したことがある。	104	/	26
②預かり保育の利用時間は今のままでいい。	105	22	3
③早朝預かり保育を利用した。	25	/	105
④夏休み等の長期休暇中の預かり保育を利用した。	52	/	78
5. 農園活動をはじめとする食育に関する質問にお答えください。			
①農園の話をお子様から聞いたことがある。	126	/	4
②農園での収穫物について、話を聞いたことがある。	127	/	3
③幼稚園で食べてから、ご家庭でも食べるようになった食べ物がある。	76	/	54
④食べることに興味を持つようになった。	95	/	34

令和元年度職員自己評価

A：はい

B：努めているが、十分とはいえない

C：いいえ

①	教育課程・指導	A	B	C
	1 園の教育課程を理解し、それをもとに保育の計画を立てている。	○		
	2 指導計画は常に見直しを行い、幼児の実態にあわせて変更している。	○		
	3 それぞれの行事に幼児が積極的に参加できるよう指導している。	○		
	4 教師の願いや意図を持ち、幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている。	○		
②	健康と安全への配慮			
	1 けがや事故には特に気をつけ、機会に応じた適切な配慮をしている。	○		
	2 健康な心と体を育てるための食育に取り組んでいる。	○	○	
	3 緊急事態発生時に教職員が役割を把握し、連携して行動ができるよう訓練をし、共通理解が図られている。	○	○	
③	幼児のみとりと理解・対応			
	1 一人一人の幼児をよく観察し、言葉にならない思いやサインを受け止め、 幼児同志のかかわりの中でその姿の内にある心の動きについても推察するようにしている。	○		
	2 幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる。	○		
	3 幼児同志のトラブルに対し、適切な対応をしている。	○		
	4 幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている。	○		
④	教師としての資質・能力・良識・適性			
	1 保護者に対し、幼児や保育のことを分かりやすく伝え信頼関係をつくることに努めている。	○		
	2 幼児や保護者との対応には、公平さを心掛けている。	○		
	3 職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	○		
	4 クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している。	○	○	
	5 教職員全員でひとつのチームであることを意識している。	○		
	6 他の意見を素直な気持ちで聞き、自分の意見を述べるができる。	○	○	
	7 各自の担当や当番の事前準備を行い、仕事は確実にやっている。	○	○	
	8 自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている。	○		
	9 それぞれの学年で進級することに期待をもち、意欲的、積極的に向き合えるような指導を行っている。	○	○	
⑤	保護者への対応			
	1 保育参観や懇談会では、子ども、保育、家庭でのあり方などについて共通理解を得るよう努めている。	○		
	2 学年便り、クラス便り、園便りで、園の教育について適切に情報を提供している。	○	○	
	3 自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞く。	○		
	4 すべての保護者に対し、挨拶や会話を心がけている。	○		
	5 クレームや子育ての心配事をうけた場合は、謙虚に話を聞き、園長、副園長等へ連絡・報告・相談をしている。	○		
⑥	地域の自然や社会との関わり			
	1 地域の季節ごとの自然の移り変わりに常に興味を持っている。	○	○	
	2 子育て支援活動は地域や保護者の実情や要望に応えられる工夫をして行っている。		○	
⑦	特別支援教育			
	1 特別に支援が必要な幼児には、個別に記録するようにし、必要に応じて専門機関との連携をしている。	○	○	
	2 特別に支援が必要な幼児を取りまく大人たちの相互理解を深め、個性の違いを認め お互いに尊重できる子どもの人権教育に配慮している。	○	○	
	3 特別に支援が必要な幼児の就学相談を保護者で行い、小学校に適切な助言と申し送りをしている。	○		
⑧	研修			
	1 研修会には自己課題を持って進んで参加している。	○	○	
	2 自分の保育について計画と反省を行っている。		○	
	3 他園の見学をしたり公開保育を見てみたいと思う。	○		
	4 園内で幼児理解を深めるための事例検討会等を行っている。	○		
	5 自分なりの一年間の目標を定め、スキル向上に努めた。	○	○	